

令和4年 萩市議会12月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	9	佐々木 公 恵	12月12日午前
2	10	美 原 喜 大	
3	17	宮 内 欣 二	午後
4	8	森 田 宗 和	
5	12	関 伸 久	
6	1	水 津 和 男	
7	14	斉 藤 眞 治	12月13日午前
8	2	浅 井 朗 太	
9	13	西 中 忍	午後
10	4	小 林 富	
11	7	村 谷 幸 治	
12	18	横 山 秀 二	12月14日午前
13	11	森 田 哲 弘	
14	5	瀧 口 治 昭	午後
15	6	松 浦 誠	
16	3	岡 崎 隆 志	

質問順位	1	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 公共施設などのトイレの充実について	1. 男性トイレにサンタリーボックスの設置について		
2. プレコンセプションケアについて	1. プレコンセプションケアの取組みの現状について 2. 学校教育におけるプレコンセプションケアの取組みについて		
3. 子育て支援の充実について	1. 1歳児健康診査の導入について 2. 3歳児健康診査における視力検査について		

質問順位	2	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. たまがわ温泉「憩いの湯」の湯量について	<p>1. 5月の連休等（お客が多い場合）において、湯量が少ないため、来られたお客に帰って貰うと聞く。そこで、</p> <p>(1) 状況を説明して下さい。</p> <p>(2) リニューアルオープンの折に何故、湯量を少なくしたのか。湯量を少なくしたのは、市としての方針か。</p> <p>(3) 今後の対応を聞く。</p>		

質問順位	3	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 第3セクターの経営と市の関与について	<p>1. 株式会社たまがわの新規事業・T社漬物部門承継について、今後の経営方針・見通しをどのように調査して承認したのか。</p> <p>2. 事業承継における最大株主である萩市の関与はどのようなものだったか。</p> <p>3. 事業承継の契約はどのようになっているか。いつどのように契約したか。</p> <p>4. 議会への報告義務はないか。</p> <p>5. 事業承継に係る買取金額と資産評価はどう行ったか。</p> <p>6. 買取のための資金調達はどのようにしたか。市からの補助金や増資はあるか。</p> <p>7. 加工場改築・移転の方針はあるか。地元農林産物の使用割合は高まるのか。</p>		
2. 買い物支援を充実強化すべきではないか	<p>1. 誰でも、歳をとっても、どこでも、暮らしていけるまちづくりを進めるために、買い物支援を充実強化する必要がある。市内で移動販売車による取り組みが行われているが、販売自動車の更新にも支援できないか。</p>		
3. ジェンダー平等・性認識による差別解消とパートナーシップ条例を制定する時ではないか	<p>1. ジェンダー平等・性認識による差別解消についての市長はどのような見解を持っているか。例えば、同性婚について認めるかどうか。</p> <p>2. 多様性・寛容性を持った社会をつくるために行政が積極的に動く時ではないか。当面パートナーシップを認め、行政の中で平等な取り扱いをすすめる条例を制定してはどうか。</p>		
4. 新型コロナウイルス感染症の第8波への対応は万全か	<p>1. 第8波への対応は万全か。</p> <p>2. 希望者に検査キットを無料配布して備えてはどうか。</p> <p>3. 医療機関による受入れ体制は万全か。</p> <p>4. 福祉施設への支援が必要ではないか。</p> <p>5. 医療や福祉現場でのコロナ感染は労働災害に認定すべきではないか。</p>		

質問順位	4	質問者	森田宗和議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市の福祉行政について	1. 視野狭窄の方の現状について 2. 笠山展望台の、障がい者対応について		
2. 「あそぼ一舎」について	1. 「あそぼ一舎」について		
3. 道路行政について	1. 藍場川沿いの市道について 2. 椿地区の、マシヤマ印刷から青海地区にぬける市道について		
4. 東萩駅のJR乗車券購入について	1. 東萩駅で、新幹線チケット購入ができないと聞くが、どうなっているかお聞きします。		

質問順位	5	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 山陰自動車道の整備にあたっては、市は地元住民と国との橋渡しを	<p>1. 山陰自動車道の大井・萩間の整備にあたり、地元住民むけの説明会が各所で実施されているが、住民意見が、国において十分に共有されていないとの声や一顧だにされないとの不満の声が届いている。山陰自動車の整備にあたっては、地元住民の理解は重要である。その橋渡しを市が責任をもって行うべきと考えるが、市はどのような対応をしているのか。</p> <p>また、山陰自動車道の整備にあたり、それに関連する排水計画も重要である。先行して整備されている萩・三隅道路ではトンネルや橋脚の設置により、水の流れが変わり、飯井川への排水量が増加し、オーバーフローや土砂の堆積を懸念する声もある。</p> <p>この排水計画は極めて重要で、今後、中の倉地区、後小畑地区などの山間部工事にあたっては、その計画を地元住民に説明する必要がある。場合によっては、月見川などの支流の浚渫も必要となってくる。国・県と連携したより踏み込んだ対応が必要となってくるが、市としてはどう考えているか。</p> <p>最後に、以前、山陰自動車道の整備に関連して、中の倉地区の景観問題を質問しているが、その後、どのような対応をしているかを訊ねる。</p>		
2. 三見川河口付近の浚渫は抜本的な対策を	<p>1. この4月に、県事業として三見川河口付近の浚渫が実施されている。その後、半年が経過して、再度河口付近に土砂が堆積する状況となっている。</p> <p>この場所には、三見地区排水処理場が近接しており、そこからの浄化水が土砂の堆積により、海に流れ出ず、河口付近に留まり、夏場は藻の繁殖を招き、悪臭の原因になっていると指摘される。抜本的な対策が必要ではないか。</p> <p>三見地区に排水処理場が設置されてから、消波ブロックの設置などで潮の流れが変わったと地元では言われている。河口付近のみならず、漁港内でも土砂が堆積しやすくなっており、市に定期的に浚渫をお願いしている状況である。市から県に抜本的な対策を求めて欲しい。</p>		

質問順位	6	質問者	水津和男議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 定住・移住の促進	<p>1. 山口県内の市町で唯一、人口増となっているのは下松市です。萩市独自の施策を考えるのは勿論ですが、この下松市の取り組みを参考にすることも大変重要と思います。</p> <p>先方に聞かれたこと、また、参考にして取り組みしていることがありましたらお聞かせ願います。</p>		
2. 一次産業の活性化で観光に繋げる	<p>1. 漁業は栽培と海の環境改善（磯焼け）対策が重要であることは、これまで訴えてきました。理解をいただいていると思います。</p> <p>特に、萩ブランド魚種の放流－漁獲量の取組状況について具体的にお聞かせください。</p> <p>2. 農業については、栄養価と利益に繋げる施策が重要です。農業大学などとの具体的な取り組みがされているものがありましたら、お聞かせ願います。</p> <p>3. 鳥獣被害対策は、先ずは猟友会の皆さんの意見をお聞きし対策に結び付ける必要があります。どのような打ち合わせをされているかお聞かせ願います。</p>		
3. 行財政改革は永遠であるべき	<p>1. ある新聞に、萩市では行財政改革は、常日頃から取り組みをしており、特別に取り組む必要はないと考えている、とありました。</p> <p>一般企業ではあり得ません。何故なのか、改めてお聞かせ願います。</p>		

質問順位	7	質問者	齊藤眞治議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 自治体職場職員の処遇改善について	1. 地方公務員の定年年齢の引上げについて問う。 2. 会計年度任用職員等非常勤職員の処遇改善について問う。		
2. 第3セクターに係る地方自治法及び萩市条例との関わりについて	1. (株)たまがわの新規事業と地方自治法及び萩市条例との関わりについて問う。		

質問順位	8	質問者	浅井朗太議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 中学校の部活動地域移行について	<p>1. 今年度から協議検討が開始された部活動の地域移行についてお尋ねします。</p> <p>(1) これまで行われた協議の回数、各回の主な協議概要、参加者の内訳</p> <p>(2) 今後の予定</p> <p>(3) 市内部以外の情報収集（先進モデル事業の視察・研修など）を行っているか</p> <p>(4) 6月定例会一般質問で提言した、移行期間における既存部活動の在り方について</p>		
2. 阿武風力発電(仮)の事業進捗について	<p>1. 萩市の一部を含めた環境アセスメント調査が、年内に終了予定という節目にあたりお尋ねします。</p> <p>(1) 調査および事業の進捗についてと今後の予定について市として把握されていることをお尋ねします。</p> <p>(2) 事業予定地および事業実施工事・搬入道路に近接すると予測される八幡原湿原は、阿武町域にありながら萩市の所有する土地です。萩市の複数河川の水源でもあります。市外の水源および河川でありながら市内に流入する場合の保全について、どのように対応されるかお尋ねします。</p>		
3. マスクの着用について	<p>1. 厚生労働省はマスクの着用について指針を示しています。主な内容は、屋外での着用は原則不要とすることとなっています。</p> <p>(1) 萩市の認識見解をお尋ねします。</p>		

質問順位	9	質問者	西 中 忍 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市長の言動で、小郡・萩道路の整備はどうなるのか	<p>1. 市長は事業化が決定し、これから整備が進むと期待されていた山陰道大井～萩間の阿武川に架かる予定の橋について、計画とは違う2重橋化を選挙公約に掲げ市長選を戦いましたが、現実を理解されたからなのか断念を表明されました。</p> <p>この山陰道の2重橋化と同様に、現在、山口県によって整備が進められている小郡・萩道路の絵堂～萩間についても、県が決定した整備計画を否定するように、明木～萩間を別線バイパス化するよう要望を行っています。</p> <p>私は、国や県が事業主体として整備する事業について、事業が開始された後に、市長という立場で計画と違う要望をすることで、整備の進捗に悪影響を与えるのではないかと心配しています。</p> <p>また、このような要望行動は、行政間の連携・調整が重要だと考えていますが、それだけでなく民間団体とも同じ方向性を共有しながら一体になって行う必要があると思っています。</p> <p>そこで、計画にないバイパス化という市長の主張を官民全ての関係者が理解した上で共有しているのかお尋ねします。</p> <p>また、萩市都市計画マスタープラン（素案）に、明木・萩間の別線バイパス化の記載がなく議会への説明もなかったと記憶していますが、このことについて、市長はどのような認識を持っているのかお尋ねします。</p> <p>さらに、市長個人のフェイスブックに国への要望行動について投稿がありますが、この投稿内容についてお尋ねすると共に、市長はこの投稿を市長として投稿したのか、それとも、田中文夫個人として投稿したのかという事についてもお尋ねします。</p>		
2. 市内高校の魅力化について市長はどう考えているのか	<p>1. 市内にある高校を存続させることは、萩市の将来にとって重要なことだと私は考えていますが、子どもの数が減少していることや、市外の高校へ進学する子どもが増加するなど、大変に厳しい状況になっています。</p>		

このような状況の中、藤道前市長の時代にせめて高校までは市内で教育を受けてもらいたいという思いから、市内高校の魅力化に取り組み、グローバル50奨学金制度の創設や慶応大学の鈴木寛教授の研究会と交流するなど、独自の取り組みを行っていました。

しかし、どのような検討を行ったかはわかりませんが、市長交代後、早々にグローバル50奨学金制度は廃止されました。

しかし「この奨学金を目標に頑張っていたのに残念だ」という声を聞いていますし「市内の高校に進学したいが、通学に時間がかかり大変なので、寮を充実してもらいたい」という声も聞いています。

私は市内高校の魅力化は必要で、この寮の充実も高校魅力化の一つになるのではと考えていますが、市長は市内高校の魅力化について、どのような認識を持っているかお尋ねします。

質問順位	10	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 高校再編の動きが与える萩市への影響と地元高校への進学について	<p>1. 先日、県立高校再編整備計画に基づき、萩高校奈古分校は地元中学校の入学状況等を勘案したうえで生徒募集の停止を検討する、との説明が阿武町町民センターで開催されました。</p> <p>当該高校は阿武町に位置するものの、約80%が萩市内からの進学となっています。萩市内においても中学卒業見込み者数の減少が見込まれますが、今後の対応をお尋ねします。</p> <p>また、地元高校への進学率向上および学生確保のためには、魅力的な高校づくりとともに市外・県外から希望する学生を受け入れる環境整備も必要です。今後の取り組みをお伺いします。</p>		
2. 子ども・子育て世帯を応援する企業の活動周知により好循環を	<p>1. 萩市内の企業から子どもの居場所づくりや貧困支援をする団体などに対し、金銭だけでなく必要備品や食品などを寄付いただいているとお聞きしています。</p> <p>団体の多くは補助金やこのような企業・個人からの寄付が必要不可欠であり、各団体から御礼や寄付いただいた旨を広報されているとのことですが、地元企業がこのような支援をしていることの周知はなかなか出来ておりません。</p> <p>萩市の子ども・子育ての基本理念および基本的視点において、地域全体で子育てを支える視点、が明記されています。地元企業の支援はまさに地域社会全体で支援する体制です。地元企業と子どもの関わりは郷土や地元志向にもつながり効果は大きいと考えています。</p> <p>子ども・子育て世帯に積極的に支援する地元企業を萩市としても広報・周知、また、後に続くきっかけとなる仕組みを構築するなど更に支援の輪が広がる好循環を検討しませんか。</p>		

質問順位	11	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市道御許町唐樋線の渋滞緩和について	1. 御許町交差点は、国道191号と県道萩三隅線、市道御許町唐樋線からなる十字型交差点です。日頃より、多くの車両が通行し、特に、市道御許町唐樋線は、平日の夕方ラッシュ時など渋滞が絶えません。渋滞を解消するためのお考えはありませんか。		
2. 避難所のトイレについて	1. 避難所のトイレ整備は、災害時における排泄環境に対するストレス解消に必要不可欠と考えます。全国的にマンホールトイレの普及が広がっていますが、萩市の対応は。		

質問順位	12	質問者	横山秀二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩小郡道路間地域高規格道路について	1. 萩小郡道路「別線バイパス」構想は理解を得ていますか。		
2. 県道道路改良について	1. 萩川上線の道路改良の進捗及び要望の状況について 2. 迫田篠目停車場線改良の進捗及び要望の状況について 3. その他、県道改良の進捗及び要望の状況について		
3. 市道道路改良について	1. 生野高坂線の道路改良について。地元要望が強いことの認識について		

質問順位	13	質問者	森田哲弘 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. (株)たまたがわの新規事業に対する地元住民の反応について	1. (株)たまたがわの新規事業・営業権拡大に対する市内商店及び地元住民への影響について問う。		

質問順位	14	質問者	瀧口治昭 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市の農業に対する考え方について	<p>1. 人が生きていく上で、必要な食糧の生産を担っている第1次産業である農業ですが、その産業の現状は後継者不足による生産者年齢の高齢化、近年の肥料、飼料、燃料など原料の高騰、主要作物である米価の低価格などに加えて災害、獣害に害虫など多くの障害にさらされているといっても良い状態です。こうした環境の中にあつて、農業も営利事業ではありますが、農業を生業とされている方々をはじめ農業に従事されている方には頭の下がる思いがします。</p> <p>市においては後継者支援や、経営拡大の支援事業、多面的機能支援事業、中山間直支事業など数々の事業や、近年の飼料や燃料価格の高騰への対策事業が行われ、支援がされていることは承知をしていますが、市内の農業者においては規模や経営形態が違うなど様々に事情が違います。法人化が進み、大型化、大規模化ができたところと、補助事業にも対象となることができず、圃場整備もできずに未だに個別零細農家として経営をされているところもあります。高齢化が進む中、市として今後こうした農地、農家に対してどのような方針をもってあたられるのか、お聞きします。</p> <p>本年度も災害による農地、施設の被害が市内で発生していますが、災害として採択されたところと、そうではないところとあるようですが、どのような判断で違いが別れたのかお聞きします。</p>		
2. 本庁・総合事務所・支所に配属されているそれぞれの職員の職務に対する考え方について	<p>1. 平成17年の合併より、現在の本庁・総合事務所・支所の配置がされてから現在に至っていますが、改めてお聞きしますが、特に各地域に勤務をされている職員の皆さんは、どのような立ち位置でそれぞれの職務を果たすべきであるのかの指示があるのか、それとも各自の判断で対応されているのかお聞きします。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
3. 萩往還の整備について	<p>1. コロナ禍にもかかわらず、萩往還を走り、歩く人の姿をよく見かけますが、国道を列になって走る人たちの側を当然のことながら車も走っています。側道に繁茂する草に車道側にはみ出しがちの人もいるようですが、安全性は考慮されているのか。その他の整備はされているのか現状をお聞きします。</p>

質問順位	15	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 介護・福祉空間整備に関する交付金の活用について	1. 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の活用のため、事業者の要望調査について 2. 施設利用者の方の安全を確保するため、予算の確保と積極的な交付金の活用について		
2. 発達性読み書き障がいについて	1. 発達性読み書き障がいのある児童・生徒の把握と学校現場での検査について 2. 障がいの困難を軽減するため、学校でのサポートについて		
3. エレクトロニクス・スポーツ（eスポーツ）の取り組みについて	1. 市でのeスポーツの活用状況について 2. eスポーツを広い分野で活用してみてもはどうでしょうか		

質問順位	16	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. (株)たまたがわの新規事業の「譲受」「承継」「提携」について	<p>1. 令和4年10月1日より(株)たまたがわの新規事業に関する「譲受」「承継」「提携」の事案について、第3セクターの新規事業と市長及び所管課の関わりについてお尋ねします。</p> <p>第3セクターである(株)たまたがわが、江崎に所在するT社の一部の事業を、(株)たまたがわ 側では「譲受」「承継」、T社側では「提携」と記述され、令和4年8月吉日の日付で市内の商店等に送付された各々の「おしらせ」を拝見しました。この内容について、疑問と不安を感じられた地元住民の声を耳にしております。</p> <p>(株)たまたがわ は、地方自治法第221条および地方自治法施行令第152条による「市長の調査等の対象」であり、また商工振興課が所管する「道の駅」に関するもの、および萩市が「道の駅ゆとりパークたまたがわ」の指定管理者と定め、(株)たまたがわ に業務委託料(R3年度636万円)が支払われているなど、萩市の所管事務であることなどから質問いたします。</p> <p>また、私の質問に加え、関連質問を行う同僚議員もおられます。そこで、私からは主に本事案の経緯等についてお尋ねしますので、(株)たまたがわ の代表取締役である市長からの答弁を求めます。</p> <p>(1) (株)たまたがわ では、この新規事業に関して去る8月に2回の臨時取締役会が開催されたようで、そのうち2回目の臨時役員会では、T社の事業の一部を事業継承後の事業計画が協議され、出席取締役の全員の挙手で了承されるというスピードで事業継承が決定されたと聞き及んでいます。では、事業の「譲受」「承継」「提携」の話は、(株)たまたがわ とT社のどちらが持ち掛けられたと市長の調査で判明されていますか、確認します。また、第3セクターの代表取締役である市長に直接、双方の会社から相談があったのですか、確認します。</p> <p>(2) 各会社から送付された「おしらせ」には、本年10月1日から(株)たまたがわ とT社間の営業権について、</p>		

	<p>一方では「譲受」「承継」、一方では「提携」との記載がありました。では「譲受」「承継」と「提携」の違いは何か、市長は各々の表現の違いをどう受止められたのか、確認します。</p> <p>(3) 同時期にこの「おしらせ」を受取った商店等では、「困惑した」「どういう意味なのか」「萩市が関与できるのか」という声があったようです。両社と萩市事務方及び、市長とのすり合わせはどうであったのか、確認します。</p> <p>(4) 第3セクターで市長が代表取締役役に就任している法人は、(株)たまがわを含め6法人あると聞き及んでいます。では、今回の(株)たまがわの事案のような、公設民営の法人が民間の事業所を購入した事例が過去にもあったのか、確認します。</p>
<p>2. 転入希望者に対する案内は適切か</p>	<p>1. ある市外に転出されている市内の旧町村部出身の方が、地元である旧町村部へのUターンを検討され市の窓口で電話相談されたそうです。しかし電話口では「その地域は便が悪いので三見にされてはどうか」と希望と違う地域を勧められたということです。</p> <p>この話を聞かれた市民の方々は、市に対し強い不信感を持たれていることから質問いたします。</p> <p>全く萩市に縁のなかった方に対し、ヒアリングした希望内容と地域がマッチしてない場合であれば、定住に結びつけるために、希望内容にそった地域を勧めることは考えられなくはないかもしれませんが、しかし、地元へのUターンを検討されている方に対して他地域を勧めるということは全く理解できません。窓口で対応された方が、個人の判断でそのようなことをされたとは、私には思えません。そこでお尋ねします。</p> <p>萩市ではどのような基準で移住地域を勧めているのでしょうか。優先地域などがあるのでしょうか。</p>